

平成28年度 甲奴中学校区小中一貫教育推進計画

I 三次市小中一貫教育基本構想「学びの風土づくりプラン」

【めざす子ども像】

- ① ふるさと三次を愛し、誇りに思う子ども
- ② 夢をもち学び続ける力をもった子ども
- ③ 社会の一員として積極的に貢献する志をもった子ども

II 甲奴中学校区教育目標・めざす子ども像

【甲奴中学校区小中一貫教育 教育目標】

ふるさと甲奴を誇りに思い、主体的に学ぶ子どもの育成

III 今年度の推進の方針

1 全体の方向性

- ① 各部会を中心に、部会員から出た案を具体的に進めていく。(1)～(5)
- ② 小中合同研修、各校の研修会参加を進めていく。(6)

甲奴中学校区小中一貫教育研究主題

ふるさと甲奴を誇りに思い、主体的に学ぶ子どもの育成（仮題）
～学び合い・地域と連携したカリキュラムづくりをとおして～

(1) コアカリキュラム・オリジナルカリキュラムの充実〈研究部会中心〉

ア オリジナルカリキュラムの充実

- 9年間のつながりを意識し、地域の教育力を生かした郷土学習を推進する。
- オリジナルカリキュラム指導計画を作成し、実践・検証を行う。
- 小中でカリキュラムの実践を交流し、9年間のつながりを意識し系統的に取り組む。
- 取組の中で、課題解決力を高め、教科等で習得・活用した力をもとに主体的に探究させる。
また、情報を整理し表現する力や論理的に説明する力の向上に意識して取り組む。

イ コアカリキュラムの充実

- コアカリキュラム指導計画を作成し、実践・検証を行う。
- オリジナルカリキュラムとリンクさせながら実態に沿って改善充実させる。

ウ 9年間を見通し、体験とリンクした道徳プログラムを作成する。

(2) 主体的に学ぶ力を高め、学力向上を推進する取組〈学力向上部会中心〉

ア 学力調査の結果を分析し、共通課題への取組を行う。

イ 各学校の授業研究に参加して学び合い授業改善を図り、主体的に学び、学び合い高まり合う児童生徒を育成する。

- ウ 授業モデルの確立（授業規律の確立，学習環境づくり，各校の工夫を話し合い，生かす）
- エ 小中の系統的な学習内容を把握する。
- オ 乗入れ授業を行う。

（3）道徳教育の推進〈研究部会中心〉

- 道徳の研修を通し，9年間を見通して「地域を愛し，人から学び，自分を高めることができる児童生徒」を育成する取組
- ア 各校の授業研究に参加し，道徳についての研修を深める。
- イ 9年間を見通し，体験とリンクした道徳プログラムを作成する。
- ウ 道徳教育推進リーダー教師を中心に，道徳の研究実践を推進する。
- エ 各学校の校内研修に参加する。
- オ 道徳の時間の授業を互いに参観し合う。

（4）生徒指導の充実〈生徒指導部会中心〉

- ア 凡事徹底（あいさつ，返事，時間を守る，掃除）の取組を小中共通で実施
- イ 「甲奴中学校区生徒指導規程」に基づいた指導と交流
- ウ 不登校（傾向）の児童生徒の情報についての連携
- エ スクールカウンセラーの活用についての連携
- オ 児童生徒間交流や合同行事の拡充
例えば，児童会と生徒会の交流会，クリーン活動・合同遊び集会等

（5）異年齢交流・合同行事による表現力・自己肯定感の更なる向上

- ア 「響く歌声」をキャッチフレーズに，合唱の力を高め，小中合同合唱も行う。（研究部会）
- イ 国際教育を推進し，体験を通して多様性を受容する中でグローバルマインドの涵養や実践的なコミュニケーション力の向上を図る。（学力向上部会）
- ウ 中学生リトルティーチャー等の異年齢交流や合同行事を小中が協力して行い，自己肯定感を高める。（学力向上部会）
- エ 異文化体験活動を小中合同で行う。例えば，アメリカス市との交流を小中合同で行う。（生徒指導部会）
- オ 小小連携を行う。

（6）会員全体の研修の推進

- ア 小中合同研修会
 - 春季合同研修会
平成28年5月12日（木）
 - 夏季合同研修会
平成28年8月8日（月）
 - 公開研究会
平成28年11月11日（金） 予定
公開授業 教科，総合的な学習の時間，道徳の時間，生活単元学習等
講演
<演題>
ふるさと甲奴を誇りに思い，主体的に学ぶ児童・生徒の育成（仮題）
～学び合い・地域と連携したカリキュラムづくりをとおして～
講師 高知大学特任准教授 杉田郁代先生 招聘
 - 合同研修会
平成29年2月23日（木）
- イ 各校の研修会・研究会への参加